

ただきたい。

問 広葉樹の伐採に關しても何らかの補助を行うべきではないか。

答 広葉樹林の整備についても補助事業の目的に合致するものであれば対象になるので活用してほしい。

問 要綱には補助金の概算払いが規定されているが、事業費の何パーセントまでが可能なのか問う。

答 請求により出来高補助金額の九十%までが可能となっている。

問 この事業は環境譲与税を財源とすることになっている。本年度分として三千八百六十二万五千円が計上されているが、今後どのように増額されることになるのか問う。

答 令和四年から五年度は四千九百九十八万六千円、令和六年以降は六千三百四十四万六千円が見込まれている。

問 今年度から三年間毎年二千七百万円の予算が計上されているが、どのように考えているのか問う。

か問う。

答 今年度間伐事業に約二十ヘクタール分三百十六万円、作業道整備事業に六千メートル分千二百万円、林業機械レンタル事業に二百四十一万円、アドバイザー活用事業が二百万円、林業用機材購入事業が五十万円となっている。



川村 三千代 議員

宿毛市総合運動公園について

問 老朽化も進み修理、修繕が繰り返される運動公園の今後の管理・運営について問う。

答 近年の利用者数は毎年度十万人を超えており、本市はもとより県西部のスポーツ振興に大いに寄与している。一方で陸上競技場については、次回検査時期である令和五年十二月には公認基準を満たせず、県西部唯一の第三種公認競技場から外れることが懸念されているが、地

盤沈下等を改善するには多額の修繕費が想定され本市の財政状況では非常に困難である。県及び幡多地域全体での維持存続も含め、関係者に相談、協力を仰ぎながらあらゆる可能性を検討していきたい。

本市の経済活性化及び事業者支援策について

問 コロナ禍における経済活性化及び事業者支援について問う。

答 休業等要請協力金、コロナ対策緊急支援給付金、事業者支援給付金など中小事業者の支援、資金繰りの支援等に努め、又、地域振興券事業を行い消費喚起にも努めてきた。今後もマイナンバーカード取得者に新たに五千円の地域振興券を配布し需要喚起を図り、疲弊した地域経済を応援していきたい。

観光振興について

問 鵜来島、宇須々木の戦争遺跡を平和教育はもろろん観光資源として活用できないか問う。

答 本年度から県の実地調査

が予定されており、県の動向も注視し教育委員会とも連携しながら歴史的価値を有する観光資源として積極的に検討していきたい。他の史跡、観光資源とも連動させ観光のクラスター化を図り、滞在型の誘客につなげるべく取組んでいく。

問 自転車を活用した町づくりの成果と今後の取組みについて問う。

答 自転車関連イベントの開催、レンタサイクル事業等で観光振興策に取り組み、集客を図ってきた。宿毛の豊かな自然、歴史、新鮮な食に触れて頂いたが、今後も既存事業を磨き上げ自転車文化を発信し、又健康面環境面も意識した身近な取組みも示していきたい。

問 十一月三日から来年一月十六日まで県立美術館で開催される奥谷博画伯の展覧会について本市のPR、観光振興に活かしていないか問う。

答 奥谷先生の宿毛在住時代の作品の展覧、本市のパネル展示をはじめ宿毛市を紹介するブースを設けるなど美術館側と協議検討を重ねている。奥谷先生が見た風景、その空気であると

か、光であるとかいったものをこの地で感じてもらうことは非常に有意義だと思うので、しっかりとPRしていきたい。



川田 栄子 議員

入札制度現状について

問 入札業務の現状を問う。

答 入札業務は競争性を確保しながら地域経済の発展と地元企業の成長を支えるため地元優先発注を基本とし、公平性や透明性、事業の特性を考慮し選定業者を決定。入札方式は、一般競争入札と指名競争入札が主体である。

問 一般競争入札の現状を問う。

答 品質確保のため、市内業者同士、又市外業者との共同企業体、受注者及び技術者の実績、資格要件を付すことで一般競争入札を実施する。